
チエの雨日記

ぽつぽつぴー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

チエの雨日記

【Nコード】

N0806T

【作者名】

ぽつぽつぴー

【あらすじ】

雨が大好きなチエのお話です。きっと、チエとお母さんの何気ないやりとりに癒されるはず……だと思います。

チエと梅雨

まだ幼いチエは雨の日が大好きなのです。

雨の日にはカッパを着て、お母さんとお出かけをします。

梅雨の季節を迎えた今日もパラパラと雨が降っています。

チエは嬉しくてたまりません。

「ねえ、ママ？今日はお出かけしないの？」

いつも着ているカッパを抱えチエはお母さんにたずねます。

チエが外に出たがっているのは誰が見ても一目瞭然です。

「じゃあ、今日はそのデパートにでも行こうかしら？」

お母さんはチエが雨を好きなのを知っていますので、何かと理由を見つけては外に連れ出してあげています。

「ママ〜早く〜」

「はいはい、そんなに急がないの」

「え〜だって……」

そう言いながらもチエは道路にできた水たまりの中をピチャピチャと音をたてながら進んでいきます。

デパートのある大通りに出ました。たくさんの人がそこらじゅうを歩き交っています。

「はぐれないように手をつなぎましょうね」

お母さんはそういつて傘をもっていない方の手をチエに差し出した。

お母さんはチエの手を握ると人通りの中へ歩き出した。

チエはいろんな色や模様の傘たちが自分の近くを行ったり来たりしているのを楽しそうに眺めています。

「チエも傘がいいな」

「チエがもうちよつと大きくなってから買ってあげるわ」

「うん。チエ、早く大きくなるもん！」

「じゃあ、お母さんはチエが大きくなるのを楽しみに待ってるわ」
そうして、チエとお母さんは手をつないだままデパートの人混みに消えていった。

チエと梅雨 2

まだ幼いチエは雨の日が大好きなのです。

雨の日にはカッパを着て、お母さんとお出かけします。

この前は、デパートにお出かけをしました。

そして今日も雨はザーザー降っています。

いったい今日はどこへ行くんでしょうか？

「ねえ、ママ。お外がにぎやかだよ。楽しそうだよ。お出かけしようよ」

どうやらチエには、雨音が楽しい音楽会のように聞こえているようです。

「もう少ししたらスーパーに買い物に行くから、それまで我慢してね」

「えゝ今行きたい」

「チエはいい子なんだから、少し待つてくれるよね？」

「んゝ……チエ、いい子だから待てるもん！」

「あらホント。チエはいい子ね」

そう言いながら、お母さんはチエの頭をなでてあげた。

チエは、今すぐお出かけできないのを残念に思いながらも、お母さんに頭をなでられるのは嬉しかったので笑顔になった。

「もつとなでてゝママ」

「チエは、甘えん坊さんね」

しばらくして雨は止んでしまいました。

「あつママ。雨止んじやったよ」

「あら、ホントね。これから買い物行くけど、雨止んじやったからチエはお留守番する？」

「チエも行く！買い物チエも行きたい！」

「じゃあ、買い物に行きましようね」

「はい」

今日もチエは元気です。

次はいつたいどんな雨が降るのでしょうか？

チエは楽しみに次の雨を待ちます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0806t/>

チエの雨日記

2011年10月9日02時43分発行